

令和6年度 高等学校教育課程

令和4年度全日制課程入学生 令和5,6年度入学生 教育課程表

教科	科目	学年 クラス 類型 標準単位数	1年		2年					3年					
			選抜・進学	国士館大学進学	選抜・進学				国士館大学進学		選抜・進学				
					文系Ⅰ	文系Ⅱ	文系Ⅲ	理系	文系	理系	文系Ⅰ	文系Ⅱ	文系Ⅲ	理系	
国語	現代の国語	2	2	2											
	言語文化	2	2	2											
	論理国語	4			3	3	3		②		2	2	2		
	文学国語	4			2	2	2		②		3	3	3		
	国語表現	4													
	古典探究	4			3	3	3		2		2	2	2		
	受験国語演習*										1				(1)
	理系国語*							2							
	国語総合演習*		(1)												
国語合計		4	4	8	8	8	2	4	0	8	7	7	0		
地理歴史	地理総合	2	2	2											
	歴史総合	2	2	2											
	世界史探究	3			③	③	③		②		⑤	⑤	③		
	日本史探究	3			③	③	③		②		⑤	⑤	③		
公民	公共	2			2	2	2	2	2	2					
	政治・経済	2													(2)
	地歴公民合計		4	4	5	5	5	2	4	2	5	5	3	0	
数学	数学Ⅰ	3	3	3											
	数学Ⅱ	4			4	2	2	4		4		2	2		
	数学Ⅲ	3													(3)
	数学A	2	2	2											
	数学B	2						2		2					
	数学C	2						2							
	理系受験数学*														4
	受験数学演習*														
	受験数学ⅠA*														(2)
	受験数学ⅡBC*														(2)
数学ⅠA演習*		(1)													
数学合計		5	5	4	2	2	8	0	6	0	2	2	4		
理科	科学と人間生活	2			2	2	2		2						
	物理基礎	2						2		2					
	物理	4													⑥
	化学基礎	2	2							2					
	化学	4						3		2					3
	生物基礎	2		2				2				(2)			
	生物	4													⑥
	理科演習*														(2)
理科合計		2	2	2	2	2	7	2	6	0	0	0	9		
保健体育	体育	7~8	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	保健	2	1	1	1	1	1	1	1	1					
	武道*		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	保健体育合計		5	5	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3
芸術	音楽Ⅰ	2			②	②	②	②	②	②					
	音楽Ⅱ	2													
	美術Ⅰ	2			②	②	②	②	②	②				②	
	美術Ⅱ	2												②	
	書道Ⅰ	2			②	②	②	②	②	②				②	
	書道Ⅱ	2												②	
芸術合計		0	0	2	2	2	2	2	2	0	0	2	0		
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3	3											
	英語コミュニケーションⅡ	4			5	4	4	5	4	4					
	英語コミュニケーションⅢ	4									5	4	4	5	
	論理・表現Ⅰ	2	2	2											
	論理・表現Ⅱ	2			3	2	2	3	2	2					
	論理・表現Ⅲ	2									3	2	2	3	
	英語演習*		(1)												
英語合計		5	5	8	6	6	8	6	6	8	6	6	8		
家庭	家庭基礎	2	2	2											
	家庭合計		2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
情報	情報Ⅰ	2	2	2					2	2					
	情報合計		2	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	
小計			29	27	33	29	29	33	24	28	24	23	23	24	
総合的な探究の時間		3~6	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	
合計			30	29	34	30	30	34	25	29	25	25	25	25	
特別活動	HR	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

○数字は選択必修科目 ()内は自由選択科目 *は学校設定科目
●3か年履修単位数

- ・1年の体育3単位のうち、1単位は武道を行う。
- ・HRは学校行事等を含む。
- ・総合的な探究の時間は学校行事等を含む。
- ・1年の自由選択科目は土曜日に行う。
- ・2年文Ⅰ・理系は土曜日必修授業とする。
- ・地歴の選択必修（日本史探究・世界史探究）は2・3年同じ科目を選択する。
- ・3年理科演習は、物理・化学・生物のいずれか1つを選択できる。
- ・次年度以降の選択科目については、変更する場合がある。

選抜・進学	文Ⅰ	89
	文Ⅱ	85
	文Ⅲ	85
	理	89
国士館大学進学	進学文	74
	進学理	78

卒業認定は74単位以上

令和6年度 高等学校全日制課程使用教科書

教科	種目	発行者	教科書名	学年
国語	現代の国語	数研	高等学校 現代の国語	1年
	言語文化	数研	高等学校 言語文化	1年
	論理国語	東書	精選論理国語	2,3年文
	文学国語	東書	文学国語	2,3年文
	古典探究	東書	精選古典探究 (古文編・漢文編)	2,3年文
	理系国語	東書	精選論理国語	2年理
地歴	地理総合	帝国	高等学校 新地理総合	1年
	歴史総合	山川	歴史総合 近代から現代へ	1年
	地図	帝国	新詳高等地図	1年
	日本史探究	山川	詳説 日本史	2,3年文選
	世界史探究	山川	詳説 世界史	2,3年文選
公民	公共	帝国	高等学校 公共	2年
	政治・経済	東書	政治・経済	3年選
数学	数学Ⅰ	啓林館	新編 数学Ⅰ	1年
	数学A	啓林館	新編 数学A	1年
	数学Ⅱ	啓林館	数学Ⅱ	2年文Ⅰ, 理
		啓林館	新編 数学Ⅱ	2,3年文Ⅱ, Ⅲ
	数学B	啓林館	数学B	2年理
	数学C	啓林館	数学C	2年理
数学Ⅲ	啓林館	数学Ⅲ	3年理選	
理科	化学基礎	東書	化学基礎	1年
	科学と人間生活	東書	科学と人間生活	2年文
	物理基礎	啓林館	高等学校 物理基礎	2年理
	生物基礎	東書	生物基礎	2年理
				3年文選
	化学	東書	化学 (Vol.1 理論編・Vol.2 物質編)	2,3年理
	物理	啓林館	高等学校 総合物理1、2	3年理選
生物	東書	生物	3年理選	
体育	保健体育	大修館	新高等保健体育	1年
		大修館	現代高等保健体育	2年
芸術	音楽Ⅰ	教芸	MOUSA 1	2年選
	美術Ⅰ	日文	高校美術	2年選
	書道Ⅰ	東書	書道Ⅰ	2年選
	音楽Ⅱ	教芸	MOUSA 2	3年文Ⅲ選
	美術Ⅱ	日文	高校生の美術2	3年文Ⅲ選
	書道Ⅱ	東書	書道Ⅱ	3年文Ⅲ選
情報	情報Ⅰ	実教	図説情報Ⅰ	1年
家庭	家庭基礎	実教	家庭基礎 気づく力 築く未来	1年
英語	英語コミュニケーションⅠ	啓林館	LANDMARK Fit English Communication I	1年1組
		啓林館	LANDMARK English Communication I	1年
	論理・表現Ⅰ	啓林館	Vision Quest English Logic and Expression I Standard	1年
		啓林館	LANDMARK Fit English Communication II	2年文Ⅲ
	英語コミュニケーションⅡ	啓林館	ELEMENT English Communication II	2年文Ⅰ, 理
		啓林館	LANDMARK English Communication II	2年文Ⅱ
	論理・表現Ⅱ	啓林館	Vision Quest English Logic and Expression II Hope	2年
		啓林館	LANDMARK Fit English Communication III	3年文Ⅲ
	英語コミュニケーションⅢ	啓林館	ELEMENT English Communication III	3年文Ⅰ, 理
		啓林館	LANDMARK English Communication III	3年文Ⅱ
論理・表現Ⅲ	三省堂	CROWN Logic and Expression III	3年文Ⅰ, Ⅱ, 理	
	三省堂	MY WAY Logic and Expression III	3年文Ⅲ	

教科	国語	科目	論理国語	授業 時数	週3時間	教材	精選論理国語 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組 (文Ⅲ)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月～5月	【評論】『混じり合う言葉』ドミニク・チェン			筆者の体験を読みとり、それに対する考えを理解する。 子供の頃の筆者の考えを読み取り内容を深める。				
	5月～6月	【評論】『鏡の中の現代社会』見田宗介			「鏡」を通して、我々の社会を見ることの意味について、 筆者の考えを理解する。				
	6月	【評論】『言語と記号』丸山圭三郎 近現代の文学史について 第1回定期試験			本文に書かれている例を読み取り、筆者の考えを理解 する。 プリント等を使用し、近現代の文学史についてまとめ、 時代背景を把握する。				
夏 休 み		夏休み課題							
前期	9月	【評論】『サッカーにおける「資本主義の精神」』大澤真幸			筆者自身が抱く疑問に対して、どのように答えていくのか 注意しながら読み解く。				
後期	10月～11月	【評論】『原始社会像の真実』新納泉			原始から現代に至る社会の変遷を筆者がどのように 捉えているのか読み取る。				
	11月	【評論】『おじいさんのランプ』宇野常寛			本文に出てくる具体例を読み取り、それに対する筆者の 考えを理解する。				
	11月	防災教育 防災に関する資料を配布 第2回定期試験			防災に対する関心を深める。				
冬 休 み									
後期									
春 休 み		<ul style="list-style-type: none"> ・第一回定期試験範囲:【評論】『混じり合う言葉』【評論】『鏡の中の現代社会』 ・第二回定期試験範囲:【評論】『サッカーにおける「資本主義の精神」』【評論】『原始社会像の真実』 							

教科	国語	科目	論理国語	授業 時数	週 2 時間	教材	精選論理国語 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校 3年2組(文I・選抜) 高等学校 3年4組(文I)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月～7月	言語と記号 おじいさんのランプ 大学入試過去問 小論文の構成・書き方 第1回 定期試験	鏡の中の現代社会 原始社会像の真実						本文の読み取りの仕方を学び、入試問題の読み取りに繋げる 本文を正確に読み取る 小論文を書く
夏休み		夏休みの宿題							短歌(東洋大学/外部コンクール) 俳句(神奈川大学/外部コンクール)
前期 ～ 後期	9月～12月	社会の壊れるとき——知性的であるとはどういうことか 虚実の間に 抗争する人間 山口明の防災評論「緊急地震速報の定着と限界」 大学入試過去問 漢字テスト 第2回 定期試験							本文を正確に読み取る 防災に対する意識を高める 本文を正確に読み取り、正解を導き出す
冬休み									
備考	<p>授業の進度等により、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合があります</p> <p>漢字テストは「パーフェクト常用漢字」から出題する</p> <p>【第一回 定期試験範囲】 言語と記号 おじいさんのランプ 大学入試過去問</p> <p>【第二回 定期試験範囲】 社会の壊れるとき——知性的であるとはどういうことか 虚実の間に 大学入試過去問</p>								

教科	国語	科目	論理国語	授業 時数		週2時間		教材	精選論理国語 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年5組～8組 (文Ⅱ)										
	時期	項目			到達目標						
前期	4月	評論(言語)混じり合う言葉 ドミニク・チェン			筆者の体験と考察の関係に着目して読み、言語に対する見方を広げる。						
	5月～ 6月	防災評論プリント 評論(時間)鏡の中の現代社会 見田宗介 ・第1回定期試験までに漢字テストを数回実施する 第1回定期試験			・防災評論を読み取り、防災への理解を深める。 ささまざまな異世界との比較を通して、自己の生きる世界を相対的に認識することの意義を理解する。						
夏 休 み		夏期休暇課題									
前期	9月	評論(社会)サッカーにおける「資本主義の精神」 大澤真幸			筆者の述べるサッカーと資本主義の関係について理解し、社会に対する見方を広げる。						
後 期	10月 11月	評論(情報)おじいさんのランプ 宇野常寛 第2回定期試験			話題と主張の関係に着目して読み、時代とともに変わっていく本の在り方について考える。						
冬 休 み											
備 考	・第1回定期試験範囲: 評論(言語)混じり合う言葉、評論(時間)鏡の中の現代社会 ・第2回定期試験範囲: 評論(社会)サッカーにおける「資本主義の精神」評論(情報)おじいさんのランプ										

教科	国語	科目	文学国語	授業 時数	週 3 時間	教材	文学国語 東京書籍	種別	高校
学年 組 類型	高等学校 3年5組～8組(文Ⅱ) 高等学校 3年1組(文Ⅲ)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	○〈評論〉「文学のふるさと」坂口 安吾			○3つの具体例から「モラル」について考えながら「文学のふるさと」の筆者の主張を理解する。				
		◎〈評論〉「文学のふるさと」坂口 安吾 を踏まえた防災と「モラル」について			◎「モラル」の観点からも非常時における防災について考える。				
	5月	○〈小説〉「こころ」夏目漱石			○心情表現や比喻表現を捉えて、登場人物の心情や行為の意味を理解する。 複数の解釈が可能な言葉や行為について、登場人物の立場や状況を整理しながら、心情の変化から「エゴイズム」について考える。				
	6月	●近現代の文学史について①			●プリント等から近現代の文学史の流れと時代背景を把握する。				
	7月	第1回定期試験							
夏休み		国語科夏期休暇課題			・俳句 ・短歌 ・読書感想文				
前期	9月	○〈小説〉「舞姫」森鷗外			○言葉や表現、構成、時代背景などを踏まえながら、登場人物の心情を読み取る。				
後期	10月	○〈小説〉「舞姫」森鷗外			主人公の言動などから自らの道の選択に至る経緯と人生についてを考える。				
		○〈詩歌〉「小諸なる古城のほとり」島崎藤村			○言葉や表現技法を確認しながら、詩の中の情景や人の心情について理解する。				
	11月	○〈評論〉「演技する『私』」安藤宏			○作品の中の「私」と作者との関係を考えながら、文章構成と展開から筆者の主張を理解する。				
	12月	◆近現代の文学史について② 第2回定期試験			●プリント等から近現代の文学史の流れと時代背景を把握する。				
備考	<p>※授業の進度等により、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合がある。</p> <p>※ 文Ⅲクラスの定期試験問題は文Ⅱクラスと異なるものがある。</p> <p>※課題等は類型により異なる場合がある。</p> <p>【第1回 定期試験範囲】 〈評論〉「文学のふるさと」坂口 安吾／〈小説〉「こころ」夏目漱石／「近現代文学史」①</p> <p>【第2回 定期試験範囲】 〈小説〉「舞姫」森鷗外／〈詩歌〉「小諸なる古城のほとり」島崎藤村／〈評論〉「演技する『私』」安藤宏／「近現代文学史」②</p>								

教科	国語	科目	文学国語	授業 時数	週 3 時間	教材	文学国語 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校 3年2組(文Ⅰ・選抜) 高等学校 3年4組(文Ⅰ)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月～7月	◆【評論】「文学のふるさと」坂口安吾 ◆【小説】「檸檬」梶井基次郎 ◆【詩歌】「永訣の朝」宮澤賢治 ◆近現代の文学史について① ◆【演習】大学入試問題演習 第一回 定期試験			◆具体例と筆者の主張との関係に注意して評論を読み、文学のよりどころについて理解を深める。 ◆登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、「檸檬」の持つ意味について考える。 ◆表現された内容を読み取り、描かれた行動や言葉から「わたくし」の妹に対する思いを解釈する。 ◆プリント等を使用し、近現代の文学史についてまとめ、時代背景を把握する。 ◆過去問題を解くことで解法を身に付ける。				
夏 休 み		★国語科課題			◆読書感想文(校内コンクール) ◆短歌(東洋大学/外部コンクール) ◆俳句(神奈川大学/外部コンクール)				
前期	9月～12月	◆【詩歌】「小諸なる古城のほとり」島崎藤村			◆文語の響きや五七調のリズムに親しみ、詩に描かれた情景や心情を読み取る。				
後期		◆【小説】「舞姫」森 鷗外 ◆【評論】「演技する『私』」安藤 宏 ★防災学習 ◆近現代の文学史について② ◆【演習】大学入試問題演習 第二回 定期試験			◆構成や時代背景に注意しながら主人公の葛藤を読み取り、人生の選択について考える。 ◆筆者の主張の展開を押さえ、小説における作者と小説内の「私」との関係について考えを深める。 ◆天災に関する資料や作品を読み、自分の考えを言葉に綴ることで、各自防災への意識を高める。 ◆プリント等を使用し、近現代の文学史についてまとめ、時代背景を把握する。 ◆過去問題を解くことで解法を身に付ける。				
冬 休 み									
備 考	★ 授業の進度等によって、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合があります★ ※ 定期試験については、各回ともに記載作品の中から単元を選択して出題するものとする。 ※ 「新国語問題総演習」等で小テストを行う。(単語、文法、重要語等) ※ 大学入試問題、模擬試験問題等を活用して入試対策をしていく。 【第一回 定期試験範囲】 「文学のふるさと」/「檸檬」/「永訣の朝」/「近現代文学史」① 【第二回 定期試験範囲】 「小諸なる古城のほとり」/「舞姫」/「演技する『私』」/「近現代文学史」② ※ テストは、学習課題ノートや便覧等事前に指定した副教材から出題する場合もある。								

教科	国語	科目	古典探究	授業 時数	週2時間	教材	精選古典探究 古文編 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組 (文Ⅲ)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月～7月	『紫式部日記「女郎花」』紫式部 『紫式部日記「日本紀の御局」』紫式部 『大鏡「道長、伊周の競射」』 第1回定期試験			日記を読み、作者の境遇や出来事を的確にとらえる。 作者のものの味方、感じ方、考え方を理解する。 歴史を背景に作品についての理解を深める。 内容を自分と関係づけながら、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 助動詞などの文法事項を理解する。				
夏 休 み									
前期	9月	『大鏡「隆家と道長」』			歴史物語を背景に作品についての理解を深める。 内容を自分と関係づけながら、ものの見方、感じ方、考え方を深める。				
後期	10月～11月 12月	『花鏡「初心を忘るべからず」』 第2回定期試験			評論の論旨を的確に捉える。 ものの見方、感じ方、考え方を踏まえて考えを深める。 災害時の心得について考える。				
冬 休 み									
後期	1月 2月 3月								
備考		第1回定期試験 範囲 『紫式部日記「女郎花」』、『日本紀の御局』、『大鏡「道長、伊周の競射」』 第2回定期試験 範囲 『大鏡「隆家と道長」』、『花鏡「初心を忘るべからず」』							

教科	国語	科目	古典探究	授業 時数		週2時間		教材	精選古典探究 古文編・漢文編 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校 3年2組(文I・選抜) 高等学校 3年4組(文I)										
	時期	項目				到達目標					
前期	4～7月	日記文学『和泉式部日記』・夢よりもはかなき世の中を				日記文学の自照性に触れることで、ものの見方・考え方を広げる。					
		自叙伝『折りたく柴の記』(入試問題)				江戸時代の地震・防災意識を学習する。入試過去問題によって総合的学力を身につける。					
		漢文 『十八史略』・赤壁之戦				『三国志』における中国の当時の世界観を知る。					
		※第一回定期試験									
夏 休 み											
前期	9月	評論 『無名草子』・紫式部				評論から古人の文学作品の評価や考え方を学ぶ。					
		日記文学『紫式部日記』・日本紀の御局				平安時代の宮中における暮らしや考え方を知る。					
後 期	10月～12月	物語 『源氏物語』・(御法)				『源氏物語』を通して「単語」「文法」「読解」「文学史」を学習し、「入試に対する力」と「古典を活用する力」を総合的に身につける。					
		漢文 入試問題				入試過去問題によって漢文の総合的学力を身につける。					
		※第二回定期試験									
冬 休 み											
備 考		※小テストを実施。(単語、文法、古典常識等)									
		※大学入試問題等を活用して入試対策をしていく。									
		第一回定期試験	歴史物語、評論、漢文、古文単語、文学史								
		第二回定期試験	日記文学、物語、漢文、古文単語、文学史								

教科	国語	科目	古典探究	授業 時数	週2時間	教材	精選古典探究 【古文編】【漢文編】	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年5組～8組(文Ⅱ)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月 ∩ 5月 ∩ 6月 ∩ 7月	日記 『更級日記』『門出』(菅原孝標女) 『紫式部日記』『女郎花』(紫式部) 儒家の思想 『論語 二章』(孔子) 『仁人心也、義人路也』『君子有三楽』(孟子) 『文学史』(完成 日本文学史ノート) 第一回定期試験			・日記が文学として確立した流れを学ぶ ・物語に対する少女らしい憧れを理解する ・様々な日記を読み、特色について理解する。 ・紫式部の鋭い観察力をうかがう。 ・人間を巡る様々な思想を読み取る。 ・人間の生き方や日本への影響について学ぶ。 ・体系的な文学史の流れを理解する。				
夏 休 み		・現代学生百人一首(東洋大学) ・高校生俳句大賞(神奈川大学)			・夏休みの課題として実施				
前期	9月 ∩	説話 『宇治拾遺物語』『伴大納言、応天門を焼くこと』			・説話を多角的な視点から読む。 ・授業の中で防災の意識を定着させる				
後 期	10月 ∩ 11月 ∩ 12月	評論 『無名抄』『おもて歌のこと』(鴨長明) 『無名草子』『清少納言』 史話 『三国志の世界』『赤壁之戦』 『文学史』(完成 日本文学史ノート) 第2回定期試験			・評論を読み、論旨をとらえる。 ・登場人物の行動や心情をとらえる。 ・体系的な文学史の流れを理解する。				
冬 休 み									
備 考	【第1回定期試験範囲】 日記／儒家の思想／日本文学史 【第2回定期試験範囲】 説話／評論／史話／日本文学史								

教科	国語	科目	受験国語演習	授業 時数	週1時間	教材	大学入試 過去問題 プリント	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校 3年2組(文I・選抜) 高等学校 3年4組(文I)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月～6月	中堅大学の入試過去問題 (入試問題)佐々木毅『学ぶとはどういうことか』 第1回定期試験			<ul style="list-style-type: none"> ・入試問題の本文を正確に読み取ることができる。 ・設問の質問内容を理解し、正解に繋がる表現や内容が本文のどこにあるのかを見つけることができる。 ・論理的な文章・古文を扱う。 ・防災関連評論を読み取り、防災への理解を深める。 				
夏 休 み		夏期休暇課題							
前期	9月	中堅以上の大学の入試過去問題			<ul style="list-style-type: none"> ・入試問題の本文を正確に読み取ることができる。 ・所定時間内に解くことができる。 ・設問の質問内容を理解し、正解に繋がる表現や内容が本文のどこにあるのかを見つけることができる。 				
後 期	10月 ～11月	難関大学の入試過去問題 共通テストの過去問題 第2回定期試験			<ul style="list-style-type: none"> ・正答率を上げる。 ・論理的な文章・古文・漢文を扱う。 				
冬 休 み									
後 期									
試 験 範 囲		<ul style="list-style-type: none"> ・第1回定期試験範囲: 中堅大学入試過去問題から ・第2回定期試験範囲: 中堅・難関大学・共通テスト入試過去問題から 							

教科	国語	科目	高3受験国語	授業 時数		週1時間		教材	プリント	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年2組(理系)・3組										
		項目				到達目標					
前期	4月	大学入試現代文重要語句・漢字・キーワード等の 語彙力を養いつつ演習問題に取り組む 防災についての評論文 評論文の大学入試問題演習 第1回定期試験(授業内試験)				現代文の重要語句・語彙力を向上させる。 リスクマネジメントの観点から防災について考える。 入試現代文の読解力を向上させる。					
	5月										
	6月										
夏 休 み		夏期休暇課題									
前期	9月	看護系・理工学部の大学入試問題に取り組む				入試現代文の読解力を向上させる。					
後期	10月	看護系・理工学部の大学入試問題に取り組む 共通テスト・センター試験の過去問題に取り組む 第2回定期試験(授業内試験)				過去の入試問題に取り組むことにより、受験に必要な知識と 技術を身につけさせる。					
	11月										
冬 休 み											

教科	地理・歴史	科目	世界史探究	授業 時数		週5時間		教材	詳説世界史探究 (山川出版)	種別	高校	
学年 組 類型	高等学校3年2組・4組(選択)											
時期	項目		到達目標									
前期	4月	・中国文明～古代王朝時代(殷・周)	・中国文明の成立と、黄河を中心とした中国初期王朝の特徴を学ぶ。									
		・春秋戦国時代・諸子百家 ・秦漢時代	・諸子百家思想と秦漢時代に成立した、東アジア統一社会の基礎構造を学ぶ。									
	5月	・魏晋南北朝時代・隋唐時代	・モンゴル高原を中心に、周辺諸民族と中国の関係を理解する。 ・中国異民族王朝の成立と、アジアの国際化について学ぶ。									
		・宋時代・元時代	・伝統的な中国文化の発達と、モンゴル文化の違いについて考える。									
	6月	・明時代・清時代	・冊封体制によるアジア世界統一の流れを確認する。									
		・東アジアの諸民族 (朝鮮半島・モンゴル高原・南アジア・東南アジア)	・古代～近世における、中国周辺諸民族を整理し、理解する。									
	7月	・イスラーム教の成立・イスラーム帝国の拡大と分裂	・イスラーム教の誕生と拡大について理解する。									
		第1回定期試験										
	夏期休暇課題: 中国文化史 目標: 各時代の中国文化を学び、中国史の背景をより深く理解すること											
	9月	・中世～近世イスラーム時代	・中東イスラーム社会の発展と、アフリカ・西アジア・南アジアでの現地文化とイスラーム文化の融合について理解する。									
後期	10月	・19世紀のヨーロッパ社会 (イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・アメリカ・ロシア)	・近代社会の成立について、自由主義思想や愛国主義を軸に新勢力と旧勢力の対立構造などを包括的に学ぶ。									
	11月	・帝国主義の拡大 ・二つの世界大戦	・20世紀の経済停滞と、それに伴う植民地政策の拡大、国際戦争などの流れを理解する。									
		・冷戦世界～現代の社会	・現代の社会問題につながる諸問題を整理し、現代社会の問題の解決を図る。									
	12月	・防災学習: 中国唐山地震から学ぶ	第2回定期試験									
1月 2月 3月	・自宅学習	・それぞれ自分の目標に沿った内容を各自で学習する。										

教科	地理・歴史	科目	世界史探究	授業 時数		週5時間	教材	詳説世界史(山川出版)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年5・6・7組(選択)									
	時期	項目			到達目標					
前期	4月	中国の古典文明 殷～漢帝国			<ul style="list-style-type: none"> ・中国文明の起源を理解する ・中華文明の形成期の社会や文化を理解する。 					
	5月	北方民族活動と中国の分裂 東アジア文化圏の形成 モンゴルの大帝国			<ul style="list-style-type: none"> ・中国の分裂と動乱の時代を理解する。 ・隋唐帝国の国家制度や文化を理解する。 ・モンゴル帝国の興亡と諸地域に与えた影響を理解する。 					
	6月	アジア諸地域の繁栄 明朝と隣接諸地域			<ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸地域の動向を確認し理解する。 ・明朝の経済、文化を理解する。 					
	7月	清代の中国と隣接諸地域 東アジアの激動			<ul style="list-style-type: none"> ・清朝の社会、文化を理解する。 ・清朝の危機と日本の開港 					
	第1回定期試験実施			<ul style="list-style-type: none"> ・中国古典文明から東アジアの激動 						
夏 休 み		大学入試問題の研究・復習、ノート整理			<ul style="list-style-type: none"> ・主題学習に積極的に取り組ませる。 ・進度にあわせて史料問題・文化史問題に取り組む ・歴史の流れを縦だけでの理解に留めず、横(国や地域間)にも幅広く理解する 					
前期	9月	世界の災害・防災を考察			調べ学習					
		イスラーム世界の形成			<ul style="list-style-type: none"> ・ムハンマドの活動やイスラーム教の特質を把握する。 					
後期	10月	イスラーム世界の発展 イスラーム文明の発展			<ul style="list-style-type: none"> ・アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成を理解する ・イスラーム文明を学び、形成されたネットワークを理解する。 					
	11月	トルコ化とイスラーム化の進展 インドの古典文明 ムガル帝国の興隆			<ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム文明を学び、形成されたネットワークを理解する。 ・インド文明の成立と発展を理解する。 インド社会におけるイスラームの浸透を理解する。 					
	12月	アジア諸地域の動揺			<ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸地域の動向を確認し理解する。 					
	第2回定期試験実施			<ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム世界 インド世界 アジアの動揺 						
冬 休 み		自宅学習			<ul style="list-style-type: none"> ・各自が不得意とする分野の復習・問題演習 ・過去問題を解いて出題傾向に慣れる 					
1 月		自宅学習			各自で自分の目標に沿った問題演習・復習を行う					

教科	地理・歴史	科目	日本史探求	授業 時数	週5時間	教材	詳説日本史探究 (山川出版社)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年2組, 4組(文I)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	幕政の改革・幕政の衰退と近代への道 天保の改革			享保の改革・田沼時代・寛政・天保の改革の政治・経済・外交について学習する。				
	5月	近代国家の成立 明治初期の対外関係・新政府への反抗			幕末の政治・外交から明治初期の政治について学習する。 明治初期の外交と、それに伴う反政府運動を学ぶ				
	6月	自由民権運動・松方財政・憲法の制定 初期議会・政党の始まり・朝鮮問題・日清戦争と三国干渉			明治初期の政治体制の確立について理解する 議会と内閣のあり方を通して、戦前の立憲制を理解する				
	7月	日露戦争と国際関係・近代産業・近代文化 第一回定期試験			日清戦争～日露戦争の流れ・ロシアとの関係をつかむ 幕政の改革～近代文化				
夏 休 み		問題演習			実際に問題を解き 出題形式に慣れる				
前期	9月	第一次世界大戦と日本・ワシントン体制・恐慌の時代 軍部の台頭・日中戦争 第二次世界大戦～戦後 占領下の日本			第一次世界大戦の概要と当時の日本の国際的な立場を理解する度重なる恐慌による日本の変化、戦争への突入を理解する 占領下のGHQの民主化政策を理解する				
	10月 11月 12月	冷戦の開始と講和から冷戦の終結と日本の動揺 55年体制 経済復興から高度成長へ 日本における防災史 第二回定期試験			冷戦における東西対立と日本の変化を理解する 戦後の復興、国際社会への復帰を理解する 急激な経済成長を成し遂げた諸要因を理解する 過去の日本における災害とそこから得た知見に基づきどのように社会変化につながったか理解する 第一次世界大戦～高度経済成長				
冬 休 み		自宅学習			各自の進度に応じて問題演習を行う				
後 期	1月	自宅学習							

教科	地理・歴史	科目	日本史探究	授業 時数		週5時間		教材	詳説日本史 (山川出版社)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校 3年5～8組(文Ⅱ) 高等学校 3年1組(文Ⅲ)										
時期		項目				到達目標					
前期	4月	平安王朝の形成 貴族政治と国風文化				<ul style="list-style-type: none"> 平安時代の政治・文化について理解させる。 貴族によっておこなわれた政治が現代にどのように継承されているかについて考えさせる。 					
	5月										
	6月	院政と平氏の台頭 鎌倉幕府の成立 武士の社会 室町幕府の成立 幕府の衰退と庶民の台頭 戦国大名の登場 織豊政権 ※各時代の文化については、プリント等で確認する。				<ul style="list-style-type: none"> 貴族社会から武士社会への変化の過程について理解させる。 武家社会の特徴を学び、近代日本への道筋を理解させる。 武家社会の形態の移り変わりについて理解させる。 武家社会の発展について学び、政治の経済・文化との関わりについて考えさせる。 					
	7月										
		第一回定期試験				平安王朝の形成～織豊政権					
夏休み		内部推薦試験対策									
前期	9月	幕藩体制の成立				<ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府成立までの流れを学び、江戸幕府の制度の利点や問題点について考えさせる。 					
後期	10月	幕藩社会の構造 幕政の安定 経済の発展				<ul style="list-style-type: none"> 長期に渡って続いた江戸幕府の政治体制の移り変わりについて理解させる。 当時の人々の生活構造について学び、人々がを送るためにを理解する。 					
	11月							江戸中期の宝永の富士山噴火とその被害について(防災学習)			
	12月	幕政の改革 幕府の衰退と近代への道 第二回定期試験				<ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府が抱えていた問題と三大改革の目的を相互的に理解させる。 経済政策と民衆の不満の高まりがあった事を理解させ、幕府衰退の要因について考えさせる。 		幕藩体制の成立～幕府の衰退と近代への道			
冬休み											

教科	公民	科目	政治・経済	授業 時数		週2時間		教材	政治・経済 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年(自由選択) 2,4,5,6,7,8組 定時制3-1										
	時期	項目			到達目標						
前期	4月	時事問題と教科書内容(経済)の組み合わせで授業を実施 第2章 現代日本の経済 第1節 現代の資本主義経済 ①経済社会の意義			・社会における実例をニュース、新聞記事などを題材に解説、その内容に関する教科書の内容を理解する 教科書p.80～ ・人はなぜ経済活動を行うのかを考える。						
	5月	②資本主義経済の発展と変容 第2節 現代経済のしくみ ①経済主体と経済の循環			教科書p.80～92 ・資本主義経済の特徴と成立過程、人間の経済活動の歴史について学び、今日の資本主義経済の課題について考える。 ・三つの経済主体の関りを理解する。						
	6月	②生産のしくみと企業 ③市場経済の機能と限界 ④国民所得と経済成長			教科書p.92～95 ・企業の活動、株式会社のしくみを理解する。 教科書p.96～104 ・市場経済のしくみ、市場の失敗を学ぶ。 ・経済成長の規模や変化、景気変動のしくみについて学ぶ。						
	7月	第1回 確認試験(試験範囲:4～7月までの内容)			・時事問題について理解を深め、実践力を身に着ける						
夏 休 み	7～8月	大学入試及び進路関連試験の現代社会・政治経済に関する学習方法の相談に必要な応じて対応									
前期	9月	時事問題と教科書内容(経済)の組み合わせで授業を実施 ⑤金融のしくみと機能 ⑥財政のしくみと機能			・社会における実例をニュース、新聞記事などを題材に解説、その内容に関する教科書の内容を理解する 教科書p.105～118 ・金融の役割、中央銀行の金融政策を学ぶ。また、政府の財政政策、租税の役割について考える。						
後期	10月	第3節 日本経済の発展と現状 ①戦後日本経済の発展			教科書p.119～127 ・日本経済について、さまざまな経済政策や世界経済との関りを踏まえて理解する。あ						
	11月	第4節 福祉社会と日本経済の課題 ⑥雇用と労働問題⑦社会保障と福祉			教科書p.142～155 ・労働者の権利や法、働き方について考える。また、日本の社会保障制度を理解し、その課題を探る。						
	12月	第3章 現代日本の諸課題 第2回確認試験(試験範囲:上記単元項目)			教科書p.156～ ・時事問題について理解を深め、実践力を身につける						
冬 休 み		大学入試及び進路関連試験の現代社会・政治経済に関する学習方法の相談に必要な応じて対応			授業では、防災的な視点、災害対策について触れられるようにする。						

教科	数学	科目	数学Ⅱ	授業 時数	週2時間	教材	啓林館 新編数学Ⅱ	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組(文Ⅲ), 高等学校3年5～8組(文Ⅱ)								
時期		項目			到達目標				
前期	4月	第5章 指数関数と対数関数 第1節. 指数と指数関数			指数の基本的な性質を理解し計算ができるようにし、 指数関数のグラフをかけるようにする。				
	5月	第2節. 対数と対数関数			対数の基本的な性質を理解し計算ができるようにする。				
	6月				対数関数のグラフをかけるようにする。				
	7月	第1回定期試験			対数の方程式・不等式を解けるようにする。				
夏 休 み									
前期	9月	第6章 微分と積分 第1節. 微分係数と導関数			微分係数から導関数に発展させ計算ができるようにする。				
後期	10月	第2節. 導関数の応用			関数の増減から極大・極小、および最大・最小を調べ 関数のグラフをかけるようにする。				
	11月	第3節. 積分			不定積分の定義を理解して、計算ができるようにする。 定積分の性質や公式を理解して、計算ができるようにする。				
	12月	第2回定期試験			平面図形の面積を定積分を用いて求めることができることを 理解させ、面積を求められるようにする。				
冬 休 み									
後期	1月								
	2月								
	3月								
春 休 み									

教科	数学	科目	数学Ⅲ	授業 時数	週 3 時間	教材	啓林館 数学Ⅲ	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年2組, 3組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4・5・6・7月	第1章 数列の極限第5章 微分法 第1節 無限数列 第2節 無限級数 第2章 関数とその極限 第1節 分数関数と無理関数 第2節 関数の極限と連続性 第3章 微分法 第1節 微分と導関数 第2節 いろいろな関数の導関数 第1回定期試験			数列・級数の概念を知り、収束、発散、振動を理解する。 極限値の計算の活用ができること。 循環小数や関数の極限を理解する。 関数の連続性と基本性質を理解する。 分数関数・無理関数はグラフが描けるようにする。 逆関数・合成関数を理解する。 変曲点や極値の判定をする。 運動や速度と微分法の関係を理解する。 微分の概念と連続な関数との関係を把握する。 微分法の演算、積・章の微分法、 合成関数の微分法の演算技法をえるようにする。 いろいろな関数の導関数を求める。				
夏 休 み									
前期	9月	第3節 導関数と関数のグラフ			接線の方程式を求める。 平均値の定理と関数の増減の基本性質を理解する。 増減表を完成させる。 実数解の個数を調べる。				
後期	10・11・12月	第4節 微分法の応用 第4章 積分法 第1節 不定積分 第2節 定積分 第3節 積分法の応用 第2回定期試験			変曲点や極値の判定をする。 運動や速度と微分法の関係を知る。 関数の積分を知る。 部分分数を理解する。 置換積分法・部分積分法を理解する。 定積分へ応用する。 偶関数・奇関数の利用。 いろいろな面積を積分で求める。 回転体・立方体の体積を求める。 Y軸の周りの回転体の体積と区分求積法と定積分の関係を学ぶ。 防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。				
冬 休 み									

教科	数学	科目	理系受験数学	授業 時数		週4時間	教材	啓林館 FocusGoldSmart数学Ⅰ+A FocusGoldSmart数学Ⅱ FocusGoldSmart数学B+C	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年2組, 3組									
時期		項目				到達目標				
前期	4月	数学Ⅰ+A 第1章 数と式				FocusGoldSmartの各章の「例題の***」を中心に演習する。				
	5月	第2章 2次関数								
	6月	第3章 集合と命題								
	7月	第4章 図形と計量								
	7月	第5章 データの分析 第6章 場合の数 第7章 確率 第8章 図形の性質 第1回定期試験								
夏休み										
前期	9月	数学Ⅱ 第1章 式と計算				FocusGoldSmartの各章の「例題の***」を中心に演習する。				
		第2章 高次方程式率								
		第3章 図形と方程式								
後期	10月	第4章 三角関数				FocusGoldSmartの各章の「例題の***」を中心に演習する。				
	11月	第5章 指数関数と対数関数								
	12月	第6章 微分法								
	12月	第7章 積分法 数学B+C 第1章 数列 第3章 平面上のベクトル 第4章 空間のベクトル 第2回定期試験								
冬休み						防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。				
後期	1月									
	2月									
	3月									
春休み										

教科	数学	科目	受験数学 I A	授業 時数		週2時間		教材	数研出版 ベーシック スタイル数学演習	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年(選択)										
時期		項目				到達目標					
前期	4月	第1章 数と式				数学 I, 数学Aの内容を復習し, 受験に向けて実力養成をはかる。 展開, 因数分解, 平方根, 絶対値, 条件と命題 グラフの平行移動, 最大値・最小値, 2次関数の決定, 2次不等式, 2次方程式 三角比, 相互関係, 正弦定理・余弦定理, 三角形の面積, 円に内接する四角形, 空間図形 防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。					
	5月	第2章 2次関数									
	6月	第3章 図形と計量									
	7月	第1回定期試験									
夏休み											
前期	9月	第4章 データの分析				平均値と分散					
後期	10月	第5章 場合の数と確率				場合の数, 順列, 円順列, 重複順列, 組合せ, 同じものを含む順列, 確率, 反復試行の確率, 条件付き確率, 期待値 チェバの定理, メネラウスの定理, 円の性質, 多面体 余りによる整数の分類, 1次不定方程式, n進法					
	11月	第6章 図形の性質									
	12月	第7章 整数の性質									
		第2回定期試験									
冬休み											
後期	1月										
	2月										
春休み											

教科	数学	科目	受験数学ⅡBC	授業 時数		週2時間		教材	数研出版 ベーシック スタイル数学演習	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年(選択)										
時期		項目			到達目標						
前期	4月	式と証明			数学Ⅱ, B, Cの内容を復習し, 受験に向けて実力養成をはかる。 二項定理, 整式の除法, 恒等式, 等式・不等式の証明						
	5月	複素数と方程式			複素数と2次方程式, 解と係数の関係, 剰余の定理, 因数定理, 高次方程式						
	6月	図形と方程式			直線・円の方程式, 円と直線, 2つの円, 軌跡, 領域						
	7月	三角関数			加法定理, 三角関数の合成, 第1回定期試験 防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。						
夏 休 み											
前期	9月	指数関数と対数関数			指数・対数の計算, 指数・対数の方程式・不等式, 最大・最小, 常用対数						
後期	10月	微分法と積分法			平均変化率と微分係数, 接線, 極大・極小, 最大・最小, 方程式の実数解の個数, 不等式への応用 定積分の計算, 定積分で表された関数, 面積						
	11月	数列			等差数列, 等比数列, 数列の和, 種々の数列, 漸化式, 数学的帰納法						
	12月	ベクトル			内積, ベクトルと平面図形, 空間のベクトルの垂直, 座標空間における図形, 空間ベクトルと図形 第2回定期試験						
冬 休 み											
後期	1月 2月										
春 休 み											

教科	理科	科目	物理	授業 時数	週6時間	教材	総合物理1,2 (啓林館)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年 2組(理系), 3組(必修選択)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4~6月	物理基礎の続き(第1部3章 仕事とエネルギーから) 第3章 仕事とエネルギー 仕事, 仕事率, 運動エネルギー, 位置エネルギー 弾性エネルギー, エネルギー保存則 第2部 物理現象とエネルギー 第1章 熱とエネルギー 熱と温度, 気体の状態変化, エネルギーの変換と保存 第2章 波とエネルギー <波動>			エネルギーの概念について理解を深める。仕事, 仕事率の定義と計算の仕方について学ぶ。 運動する物体がもつエネルギー, 重力場にある物体が潜在的に有するエネルギー, ばねによってつながれた物体が有するエネルギーを定式化する。 熱の概念, 温度の定義, 比熱と熱容量の違いなどについて理解する。熱量の保存や物体そのものがもつエネルギー(内部エネルギー)の概念について理解を深める。 エネルギーの変換と保存について理解を深める。 波の概念, 波の伝播, 波の種類(縦波と横波), 波の重ね合わせ, 反射, 屈折, 干渉, 回折などの波が有するいくつかの性質について理解を深める。波の表し方について学ぶ。 地震波の伝播の仕組みを地球の内部構造と照らし合わせながら考える。 音の性質を一般的な波の性質と関連付けながら理解する。				
	7月	(第3章 光の性質) 専門の教科書 第3章 電気とエネルギー			物理基礎で学んだ波動の基本概念を光に応用して考察する。 電気の発生原因とその物理的性質について理解する。 電流の定義と電気抵抗について理解する。合成抵抗の計算をマスターする。電磁誘導現象を知り, モーターや発電機などの応用と関連付け。交流について直流と比較しながらその性質を理解する。電磁波の種類と応用例を知る。				
	7月	第1回定期試験							
前期	9月	第1部 様々な運動 第1章 物体の運動とつり合い 第2章 運動量と力積			直線運動の発展として, 放物運動を定式化し任意の点における速度や距離を求められるようにする。剛体のつり合いについて力のモーメントの概念を理解する。 運動量の定義, 運動量の保存について学ぶ。力積(運動量の変化)について理解する。反発係数について理解する。				
	9月	第3章 円運動と単振動 第4章 万有引力 第5章 気体分子の運動 (熱とエネルギー) 基礎の教科書			円運動と円運動における速度, 加速度の定義について理解する。 慣性力(見かけの力)について理解する。 振動する物体の運動様式を記述できるようにする。振動体のエネルギーを定式化する。 惑星の運動と回転運動を関連付けて理解する。万有引力について学ぶ。 気体の状態方程式を学ぶ。気体の熱運動の様子から状態方程式が理論的に導かれることを知る。熱力学第一法則と気体の状態変化について理解を深める。 熱量の保存, 熱の移動のしくみ(熱伝導, 対流, 熱放射)の概念について理解を深める。 熱の利用の一例として熱機関を取り上げ, 背景に含まれる熱力学の基本法則について理解する。エネルギーの相互変換について知り, 自然界における普遍原理であるエネルギー保存則について理解する。自然現象における変化の方向について, その原理について理解する(熱力学第二法則)。				
後期	10月	第3部 電気と磁気 第1章 電界と電位 第2章 電流			電場中の電荷のポテンシャル(電位)について理解を深める。 コンデンサーの種類と性質について学ぶ。複数のコンデンサーを接続したときの合成容量の求め方を学ぶ。 電流の発生原因と大きさについて学ぶ。オームの法則の物理的要因を考察する。 電気回路の基礎について理解を深める。				
	11月	第3章 電流と磁界 第4章 電磁誘導と電磁波			磁気力と磁界の関係についてクーロンの法則と対応付けながら理解する。アンペールの法則(右ねじの法則)について学ぶ。 フレミングの左手の法則を理解し, 電流が磁界から受ける力を定量的に見積もる。磁界中の荷電粒子に働く力(ローレンツ力)の定式を導く。 レンツの法則とファラデーの電磁誘導の法則について理解する。自己誘導と相互誘導について学ぶ。 電磁波の種類, その発生原因, 電磁波の性質について理解する。 物質の成り立ちを理解し, 気体の分子運動論, 熱力学の基礎について学ぶ。				
	12月	第3部 物質と原子 第2回定期試験			原子中の電子の振る舞いについて理解し, 金属, 半導体, 不導体におけるエネルギー状態を量子力学的に考察する。				
冬 休 み									
後 期	1月								

教科	理科	科目	化学	授業 時数	週3時間	教材	化学Vol.1理論編 化学Vol.2物質編 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年 2組(理系), 3組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	(化学Vol.1理論編) 1編 物質の状態 4章 固体の構造			固体物質の結晶構造を学び、固体中の粒子の配列を理解する。				
	5月	2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光			物質に固有のエネルギーが存在することを認識し、化学反応に伴い熱の出入りが生じることを理解する。水で食品を温めることができる「ヒートパック」を利用し、災害時に役立つ化学を理解させ。				
	6月	(化学Vol.2物質編) 5編 有機化合物 1章 有機化合物の特徴と構造 2章 炭化水素 3章 アルコールと関連化合物			炭化水素や官能基での分類を学び、構造異性体の違いを構造式などで表せるようにする。官能基の性質や反応性の違いを理解する。元素分析による組成式や分子式を決定し、その化学的性質から構造式まで導き出せるようにする。				
	7月	第1回定期試験							
夏 休 み		7月までの範囲の総復習							
前期	9月	4章 芳香族化合物			ベンゼンを中心とする芳香族化合物の分類と特徴を学ぶ。芳香族化合物の反応系統を理解する。				
		5章 有機化合物と人間生活			身の回りの有機化合物について、日常生活でどのように利用されているか学ぶ。				
後 期	10月	6編 高分子化合物 1章 天然高分子化合物 2章 合成高分子化合物			高分子化合物の分類と表記の仕方について学ぶ。天然高分子である糖類・タンパク質の成り立ち、構造・性質について学ぶ。合成高分子の成り立ち、性質について学ぶ。高分子化合物の新しい機能、その処理における課題について学ぶ。				
	11月	3章 高分子化合物と人間生活							
	12月	7編 化学が果たす役割 1章 化学的性質の利用と工業的製法 2章 未来を創る化学			教科書に記載されている物質が、実社会でどのように作られているかを学び、化学物質が社会に与える影響を考える。				
12月	第2回定期試験								
冬 休 み									
後 期									
春 休 み									

教科	理科	科目	生物基礎	授業 時数	週2時間	教材	生物基礎 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年 (文系自由選択)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 2章 生物とエネルギー			生物の起源と生物に備わる機能について学ぶ。 生体内におけるエネルギーの吸収と放出について学び、それに伴う化学反応を理解する。				
	5月	2編 遺伝子とそのはたらき 1章 遺伝情報とDNA			生物のDNAの構造について学び、DNAの持つ性質を理解する。DNA複製の仕方や、細胞分裂時におけるDNA量の変化を理解する。				
	6月	2章 遺伝情報とタンパク質			タンパク質合成に必要なRNAとDNAの違いを明確にする。また、タンパク質の構造を学び、タンパク質合成のしくみを理解する。				
	7月	第1回授業内試験							
夏 休 み									
前期	9月	3編 ヒトの体の調節 1章 体内環境と情報伝達			腎臓や肝臓の環境調節機能を学び、生物の恒常性を理解する。また、各種臓器や器官と神経系・ホルモンの繋がりを理解する。				
後期	10月	2章 免疫のはたらき			生体内で起こるウイルスや細菌に対する反応を学ぶ。				
	11月	4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移			植生の遷移の仕方を学び、世界のバイオームの分布と特徴が一致するよう学ぶ。日本各地にある植生と、台風・津波・地震などの自然災害の関連を学び、防災意識を高める。				
	12月	2章 生態系と生物の多様性			自然界の生態系について学び、人間活動による生態系の保全を伝える。				
		第2回授業内試験							
冬 休 み									
後期									
春 休 み									

教科	理科	科目	生物	授業 時数	週6時間	教材	生物 (東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年2組, 3組 (理系選択必修)								
	時期	項目			到達目標				
前期	5月	生体構造と細胞			細胞におけるタンパク質の構造と働きについて理解を深める。 DNAの構造・複製・タンパク質合成について、その詳細なしくみを理解する。 呼吸と光合成について深く学びエネルギーの利用や変換を理解する。 防災時、迅速な行動をとるときに使用されるエネルギーについて理解する。 遺伝子の発現調節の概要を転写レベルの調節を中心に学ぶ。 →授業進度により範囲の変更有り				
	6月	タンパク質の構造と酵素							
	7月	代謝とエネルギー (防災時における行動とエネルギー使用含む)							
	7月	遺伝子のはたらき 第1回定期試験							
夏 休 み									
前期	9月	生殖と発生			有性生殖における減数分裂と受精、初期発生の過程を学ぶ。				
後 期	10月	生物の環境応答			環境応答における各種の植物ホルモンや受容体のしくみを理解する。 生物群集を構成する個体群の生態系内における役割りを学ぶ。 生命の起源および生物の変遷を学び、生物と地球環境の変化を知る。 →授業進度により範囲の変更有り				
	11月	生態と環境							
	12月	生物の進化と系統							
		第2回定期試験							
冬 休 み									
後 期									
春 休 み									

教科	理科	科目	理科演習(物理)	授業 時数	週2時間	教材	総合物理1,2 (啓林館)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年 2組(理系), 3組(自由選択)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	第1部 様々な運動(演習を中心に行う) 第1章 物体の運動とつり合い			直線運動の発展として、放物運動を定式化し任意の点における速度や距離を求められるようにする。剛体のつり合いについて力のモーメントの概念を理解する。				
	5月	第2章 運動量と力積			運動量の定義、運動量の保存について学ぶ。力積(運動量の変化)について理解する。反発係数について理解する。				
	6月	第3章 円運動と単振動			物体の運動の激しさ(破壊効果)を表す運動量から減災の方法について学ぶ。 円運動と円運動における速度、加速度の定義について理解する。 振動する物体の運動様式を記述できるようにする。振動体のエネルギーを定式化する。				
	7月	第1回定期試験			口頭試問による試験(100点)				
夏 休 み									
前期	9月	第4章 万有引力 第5章 気体分子の運動			惑星の運動と回転運動を関連付けて理解する。万有引力について学ぶ。 気体の状態方程式を学ぶ。気体の熱運動の様子から状態方程式が理論的に導かれることを知る。熱力学第一法則と気体の状態変化について理解を深める。				
	10月	第3部 電気と磁気 第1章 電界と電位 第2章 電流 第3章 電流と磁界			電場中の電荷のポテンシャル(電位)について理解を深める。 電流の発生原因と大きさについて学ぶ。オームの法則の物理的要因を考察する。 磁気力と磁界の関係についてクーロンの法則と対応付けながら理解する。アンペールの法則(右ねじの法則)について学ぶ。 フレミングの左手の法則を理解し、電流が磁界から受ける力を定量的に見積もる。磁界中の荷電粒子に働く力(ローレンツ力)の定式を導く。				
後期	11月	第4章 電磁誘導と電磁波			レンツの法則とファラデーの電磁誘導の法則について理解する。自己誘導と相互誘導について学ぶ。 電磁波の種類、その発生原因、電磁波の性質について理解する。 物質の成り立ちを理解し、気体の分子運動論、熱力学の基礎について学ぶ。				
	12月	第3部 物質と原子 第2回定期試験			原子中の電子の振る舞いについて理解し、金属、半導体、不導体におけるエネルギー状態を量子力学的に考察する。 授業内試験(100点)				
冬 休 み									
後 期									

教科	理科	科目	理科演習(化学)	授業 時数	週2時間	教材	化学Vol.1理論編 化学Vol.2物質編 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年 2組(理系), 3組 (自由選択)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	3編 化学反応の速さと平衡 化学反応の速さ			身の回りの微生物が私たちの生活とどのようにかかわり、利用されているのか学び、理解する。				
	5月	化学平衡			化学反応は常に一方向に進むとは限らないことを、反応速度の関係から学び、化学平衡の状態について理解する。条件の変化によって、化学平衡の移動が生じることを理解する。				
	6月	水溶液中の化学平衡			電離による平衡を学び、水素イオン濃度とpHの求め方を習得する。				
	7月	授業内試験							
夏 休 み									
前期	9月	問題演習(化学基礎範囲)			実践アクセス総合化学、あるいは共通テスト過去問題より、頻出問題の演習を行う。 弱点補強と実践力を強化する。				
					「混合物の分離」において、各種分離操作を用いた「飲料水を確保する手法」について探究・実験を行う。 また、その他の各原理や物質が、身近な防災手段やグッズへ応用されている点について、実験を通して興味・理解を深める。				
後期	10月	問題演習(理論化学範囲)							
	11月	問題演習(有機化学・無機化学範囲)							
	12月								
冬 休 み									
後期									
春 休 み									

教科	理科	科目	理科演習(生物)	授業 時数	週2時間	教材	生物基礎・生物 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年 2組(理系), 3組(自由選択)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	生物基礎 生物の特徴(復習)			生物の共通点、細胞小器官の構造と働きについて理解する				
	5月	生物基礎 生物 生物の特徴(復習)			呼吸と光合成に関わるATPおよび酵素の構造と性質について理解する				
		生物基礎 生物 ・遺伝子とその働き(復習)			遺伝子の構造と性質、複製の仕方およびタンパク質合成について理解する。				
	6月	生物基礎 生物の体内環境の維持(復習)			恒常性、腎臓と肝臓の構造と働き、自律神経系と内分泌系における調節について理解する。				
		生物基礎 免疫 (復習)			免疫のメカニズムについて理解する。				
		第1回定期試験(授業内試験)			試験範囲:生物基礎の分野すべて(進度によって変更有)				
夏 休 み		課題(生物基礎・生物分野)			生物基礎の内容および「高校3年 生物」の授業にて扱った分野を復習し、理解する。				
前期	9月	生物基礎 復習 生物多様性、免疫と防災 DNAを用いた計算問題 自律神経系、内分泌系および免疫の演習 実験演習			生物の多様性・保全、また免疫の内容を加味しながら、東日本大震災と防災について考え・学習する。計算問題やグラフなどを用いた考察問題を重点的に復習する上で、理解度を深める				
後期	10月	生物 呼吸と光合成、酵素、実験演習			呼吸と光合成の仕組みおよび酵素について実験を踏まえて理解する				
	11月	生物 遺伝子の働き			タンパク質合成や遺伝子の発現調節について理解を深める				
	12月	神経系と恒常性			ニューロンの構造や種類などを理解する				
		第2回定期試験			試験範囲:9月から扱った内容すべて(進度によって変更有)				
冬 休 み									
後期									
春 休 み									

教科	保健体育	科目	体育	授業 時数	週2時間	教材	ステップアップ高校スポーツ (大修館書店)	種 別	高校	
学年 組 類型	高等学校3年1組～8組(男子)									
時期	項目				到達目標					
前 期	3週	【ガイダンス】 ・授業説明 ・集団行動	【防災教育】 「生命を守る」ことにおいて体育と防災教育は共通することを理解する。 各種目を通して体育で育成される体力・運動能力を、災害から身を守る行動に役立てる。 集団行動のおもな行動様式を身に付け、機敏・的確に行動する。 集団の約束やきまりを守り、お互いに協働して行動する。			体力・運動能力の状態を確かめるためのテスト。この結果をよく分析して、不足している能力を高めるためにいろいろなスポーツ活動に親しみ、心身を鍛錬して健康で充実した生活が送れるようにする。				
	5週 ～ 8週	【体づくり運動】 ＜新体力テスト＞ 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・20mシャトルラン・立ち幅跳び・ハンドボール投げ								
後 期	8週	【卓球】 1) 基本的技能 ・ストローク(フォア、バック) ・サービス ・スマッシュ ・ラリーゲーム 2) 集団的技能 ・パートナーとの連携を考えた打球 ・フットワークを活用したゲーム 3) ゲーム	自分や相手の特徴に応じた作戦を立て、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、各種ストローク、サービスなどの安定したボール操作を巧みに使い、ゲームを展開できるようにする。							
	8週	＜選択球技専門＞ 【選択サッカー】 1) 集団的技能・グループ戦術 ・3対3、5対5、7対7のミニゲーム ・3対3、5対5、7対7の規則ゲーム 2) ゲーム ・11対11のフルゲーム	ゴール型球技2種目より1種目を選択 2年次に学習した基本的な内容を応用的に行い発展させ、各種のゲームを実施し、個人技能・戦術のさらなる進歩と、集団としての創意工夫を目指し、チームとしての進化と達成感を得るようにする。							
後 期	8週	【選択バスケット】 1) 個人的技能 ・ドリブル ・シュート ・パス各種 2) 集団的技能 ・オールコートでのアウトナンバーの攻防 ・マンツーマンディフェンスでの攻防 ・ゾーンディフェンスでの攻防 3) ゲーム ・5対5	2年次に学習した基本的な内容を応用的に行い発展させ、各種のゲームを実施し、個人的技能をもとに攻撃や防御の戦術をチームで工夫・協力し、意図的に変化に富んだゲームを展開できるようにする。							

教科	保健体育	科目	体育	授業 時数	週2時間	教材	ステップアップ高校スポーツ (大修館書店)	種 別	高校	
学年 組 類型	高等学校3年2組～8組(女子)									
時期	項目				到達目標					
前 期	3週	【ガイダンス】 ・授業説明 ・集団行動 【体づくり運動】 <新体力テスト> 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・20m シャトルラン・立ち幅跳び・ハンドボール投げ				【防災教育】 「生命を守る」ことにおいて体育と防災教育は共通することを理解する。 各種目を通して体育で育成される体力・運動能力を、災害から身を守る行動に役 立てる。 集団行動のおもな行動様式を身に付け、機敏・的確に行動する。 集団の約束やきまりを守り、お互いに協働して行動する。 体力・運動能力の状態を確かめるためのテスト。この結果をよく分析 して、不足している能力を高めるためにいろいろなスポーツ活動 に親しみ、心身を鍛錬して健康で充実した生活が送れるようにす る。 投げる、捕る、打つ、走るなどの基本的技能を身に付ける。相手の 攻防に応じて作戦を立てながらゲームができる。 また、状況に応じた打撃や走塁と守備の連携プレーによって、攻 防を展開できるようにする。				
	7週 ～ 8週	【ソフトボール】 1) 基本的技能 ① 守備 ・キャッチボール(送球と捕球) ・キャッチング(ゴロ、フライ) ・ピッチング(下投げ) ② 攻撃 ・バットの握り方 ・バッティング 2) 発展的 skill (ゲーム形式による練習) ① 守備練習 ・定位置でのノック(捕球) ・連携プレー(捕球→送球) ・ゲーム形式による守備練習 ② 攻撃 ・バッティング(フリー) ③ 走塁 ・状況に応じた走塁 3) ゲーム								
後 期	4週	<選択球技専門> 【選択バスケット】 1) 個人的技能 ・ドリブル ・シュート ・パス各種 2) 集団的 skill ・オールコートでのアウトナンバーの攻防 ・マンツーマンディフェンスでの攻防 ・ゾーンディフェンスでの攻防 3) ゲーム ・5対5				ゴール型およびネット型球技より2種目を選択 1年次に学習した基本的な内容を応用的に行い発展させ、各種 のゲームを実施し、個人的技能をもとに攻撃や防御の戦術をチ ームで工夫・協力し、意図的に変化に富んだゲームを展開でき るようにする。				
	4週	【選択バレーボール】 1) 基本的 skill ・パス ・サーブ ・スパイク 2) 集団的 skill ① 攻撃 ・レシーブ～トス～スパイク(三段攻撃) ② 防御 ・サーブレシーブからの攻撃 ・チャンスボールからの攻撃 ・ブロック 3) ゲーム				2年次に学習した基本的な内容を応用的に行い発展させ、個人的 技能をもとに攻撃や防御の戦術をチームで工夫・協力し、意図 的に変化に富んだゲームを展開できるようにする。				
	4週	【選択卓球】 1) 基本的 skill ・ストローク(フォア、バック) ・サービス ・スマッシュ ・ラリーゲーム 2) 集団的 skill ・パートナーとの連携を考えた打球 ・フットワークを活用したゲーム 3) ゲーム ・ダブルス				2年次に学習した基本的な内容を応用的に行い発展させ、自分や 相手の特徴に応じた作戦を立て、勝敗を競う楽しさや喜びを味 わい、各種ストローク、サービスなどの安定したボール操作を巧 みに、ゲームを展開できるようにする。				

教科	保健体育	科目	武道(柔道)	授業 時数		週1時間		教材	柔道教本 (共栄出版)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組～8組(選択)										
時期		項目				到達目標					
前期	4月	学習のねらい 柔道の意義・修行の目的 (女子)護身術・組みつかれた場合7本・離れた場合5本・計12本 (男子)投げ技(小内刈り) 投げ技の復習・応用 (女子)護身術 組みつかれた場合7本				自己の形成を図る武道の精神を学び、日常生活に生かす態度を養う。基本動作を身につけ、対人的技能を生かした攻防の仕方を工夫して、練習や試合ができるようにする。また、ルールや審判の方法を学び禁じ技を用いないなど禁止事項を守るとともに、安全に留意して練習や試合ができるようにする。全て安全優先で行う。 意義「精力善用・自他共栄」を理解させ人間教育を考えさせる。崩しの原理を理解する。					
	5月	(男子)自由練習・投げ技 連絡技 背負い投げ→小内刈り				(女子)7本動作を覚え、取・受のメリハリをつける。間の取り方と取・受の呼吸を合わせる。					
	6月	(男子)連絡技 背負い投げ→小内刈り・連絡技の応用 (女子)護身術 組みつかれた場合7本				背負い投げ→小内刈りのタイミングと相手に配慮をした投げ方受身の取り方を評価する。					
	7月	試験				(女子)7本の動作、取・受のメリハリ、呼吸が合っているかを評価する。					
夏休み											
前期	9月	災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方 (男子)投げ技・連絡技・自由練習の応用 (女子)護身術 組みつかれた場合7本の復習と新たに離れた場合の5本				安全な経路の確認、自助について学ぶ 大内刈り→背負い投げ・大内刈り→体落としなど、タイミングを覚える。 (女子)取・受のメリハリをつける。間の取り方と取・受の呼吸を合わせる。					
	10月	(男子)ルール・自由練習(立技・寝技)				試合の進め方とルール 禁止事項・安全性について学習する。					
後期	11月	(女子)護身術 組み付かれた場合7本 離れた場合 5本 計12本 復習と試験練習				(女子)12本を通して行い、取・受のメリハリをつける。間の取り方、取・受の呼吸を合わせる。					
	12月	3年間の総合復習 礼法 受身 打ち込み 固め技 自由練習 試験				(男子)大外刈り・大内刈り・背負い投げ・体落としから2種目。各3本ずつ投げる。投げ方、受身の取り方を評価する。 (女子)護身術12本を通して行い、取・受のメリハリや間合いの取り方、呼吸の合わせ方を評価する。					
冬休み											

教科	保健体育	科目	武道(剣道)	授業 時数	週1時間	教材		種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組～8組(選択)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月・5月	《ガイダンス》 3年次の授業内容・学習のねらい 切り返し・基本打ち			剣道の歴史や精神を学び、剣道を通して日常生活に必要な礼儀や生活態度を身につける。正しい構えから気剣体一致の技を出せるようになる。 切り返しの反復練習から正しい打突や手の内を覚える。 木刀による基本技稽古法を応用する。				
	6月	応じ技			相手の技に対応し、打ち切る。				
	7月	試験			切り返し				
夏 休 み									
前期	9月	災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方			安全な経路の確認、自助について学ぶ				
		男子、試合・審判			試合のルールを正確に憶える。				
		女子、日本剣道形			日本剣道形で礼法・姿勢・間合い・理合い・呼吸を学ばせる。				
後期	10月	審判 剣道形、1・2・3本目			基本の動作を身につける。 打ち立ちと仕立ちの意味、役割を理解させる。				
	11月	チームを作り対戦させる 剣道形、4・5本目			チームを分け審判と試合者の役割を理解させる。 礼法・姿勢・間合い・理合い・呼吸を正確に理解させる。				
	12月	試験			男子 試合 女子 剣道形				
冬 休 み									

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	授業 時数	週2時間	教材	MOUSA 2 (教育芸術社)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組(文Ⅲ)								
時期	項目				到達目標				
前期	歌唱「歩いて帰ろう」 歌唱「SUN」 ソルフェージュⅠ「音符と休符の長さ」 ソルフェージュⅡ「表拍と裏拍,三連符」 ソルフェージュⅢ「リズムを聴き取る練習,正確に打つ練習」 ソルフェージュⅣ「互いに聴き合いながらリズムを打つ練習」 鑑賞「族」「太鼓ができるまで」 鑑賞「鼓童について」「明日への扉」 創作/実技「Prelude Ⅲ」 試験(実技・筆記)				リズムの特徴を生かし、曲の雰囲気合う歌い方を工夫する。 リズム感を養い、楽譜を読んだり音を聴き取ったりする力を身に付ける。 和太鼓に関する造詣を深める。 リズムの重なり合いや曲の構成を意識し、音色や強弱を工夫して演奏する。				
後期	歌唱「涙そうそう」 歌唱「天体観測」 器楽「和太鼓」 災害と音のはたらき 校内発表(実技試験扱い) 試験(筆記)				曲の雰囲気に合うように歌い方を工夫して歌う。 和音の変化を感じ取り、情景を思い浮かべて歌う。 映画における音楽の効果を分析する。 防災と音の関わりについて学ぶ。				

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	授業 時数	週2時間	教材	美術Ⅱ (日本文教出版)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組(文Ⅲ)								
	時期	項目			到達目標				
前 期	4月～6月前半	透明水彩を学ぶ			カラーチャートの制作などを通して画材や混色、筆の使い方の基礎を学び、思い通りに色や質感を表現できるようになる。				
	6月後半	keynoteで自己紹介の資料を作る			構図やアニメーション効果、効果音、人に伝える力を習得する。				
後 期	10月～11月	ペーパーナイフの制作			使う人の気持ちを考えたデザインを思考することができる。 刃物の正しい使い方をできるようになる。				
	12月	防災について 「ポスターコンクールの審査員になってみよう！」			他者の作品を見る目を養い、自分の言葉で作品の良さを伝えられるようになる。				

〈使用画材・教材〉

透明水彩絵具・マスキングテープ・筆・画用紙・彫刻刀・クラフトロイド 等

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	授業 時数	週 2 時間	教材	2 東京書籍 書Ⅱ 305	種別	高校	
学年 組 類型	高等学校 3年1組(文Ⅲ)									
時期	項目					到達目標				
前期	4月	書道Ⅰから書道Ⅱへ。姿勢と執筆法。 書道Ⅰで学んだ中国と日本の代表的な古典を鑑賞し、表現を学ぶ。臨書の復習。					芸術書道に親しむ。 書道Ⅰで習った内容を確認し、今後の書に生かす。執筆法、姿勢の確認。線の表情の認識。			
	5月	漢字・仮名の古典を鑑賞し、特徴を生かして漢字仮名交じりの書を書く。漢字と仮名を調和させた表現方法を理解する。					書の表現力をつかむ。 古典作品の特徴をつかむことで表現力の幅を広げる。筆法、道具による表現方法の違いを理解する。			
	6月	字の変遷の復習。楷書・行書の臨書。表現と鑑賞。書道Ⅰとは異なる独特の字形を理解する。					それぞれの古典の持つ特徴の理解。筆法・字形・筆順を理解する。			
	7月	草書の臨書。表現と鑑賞。筆順の違いや字形の省略などから特徴を捉える。					時代背景・特徴をとらえ、様々な表現力を養う。			
夏休み	鑑賞。					日常の中での様々な書体を知る。				
前期	9月	隷書・篆書の臨書。表現と鑑賞。時代背景を学び、字形の特徴をとらえる。					それぞれの古典の持つ特徴の理解。			
		防災の用語を書く。					防災の用語を書くことで、防災に関する意識を高める。			
後期	10月	仮名の書。連綿の書き方。古典の鑑賞。表現と鑑賞。					日本独自の書体・書法を鑑賞し、体験的に学習することで表現方法を理解する。			
	11月	仮名の書。散らし書きなどの表現方法。漢字仮名交じりの書。創作活動。					書道Ⅰ、Ⅱで学んだ表現の特徴を自分の作品に生かす。			
	12月	漢字仮名交じりの書。創作活動。					書道Ⅰ、Ⅱで学んだ表現の特徴を自分の作品に生かす。用具用材による表現の違いをとらえる。			
冬休み										
後期										
春休み										

教科	英語	科目	英語コミュニケーションⅢ	授業 時数	週4時間	教材	LANDMARK Fit Ⅲ LANDMARK Fit Ⅲ workbook	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組(文Ⅲ)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	Lesson 1 Incredible Edible			地域再生・食育・環境問題について学ぶ 英語検定に向け、英作文をマスターする				
	5月	英語検定対策 Lesson 2 Blood Is Blood							
	6月	Lesson 3 Biomimetics			ナノテクノロジーの進展と環境問題について学ぶ				
	7月	【第一回定期試験】							
	夏休み	8月	夏休みの課題			進路に向けて宿題に取り組む。			
前期	9月	Lesson 4 Political Correctness			ジェンダーについて学ぶ				
後期	10月	防災学習			防災に関する単語をマスターし、英語で表現できるようにする。 環境破壊・世界遺産について学ぶ				
		Lesson 5 Saving Our Treasures from the Sea							
	11月	Lesson 6 Body Imperfect			障がいや差別について学ぶ				
12月	【第二回定期試験】								
冬休み	1月								
後期	1月								
	2月								
春休み	3月								

教科	英語	科目	英語コミュニケーションⅢ	授業 時数	週5時間	教材	ELEMENT English Communication Ⅲ	種別	高校	
学年 組 類型	高等学校3年2～4組									
時期	項目		到達目標							
前期	4月	Lesson 2 Environment and Life 社会的な事柄について論説文(500語)を読んで、グラフなどを参考にしながら、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理できるようになることを目指す。	<リーディング> 段落ごとに意味をつかみ、未知単語・未知熟語を推測しながら読む訓練をする。また、多様な読解演習から情報を素早く読み取る力を養う。							
	5月	Lesson4 Humans and Technology 社会的な事柄について2つの論説文(各300語程度)を読み比べて概要や詳細を理解したり、書き手の主張や目的を判断することができるようになることを目指す。	<リスニング> 『スタディサプリENGLISH 4技能コース』 『共通テスト10分リスニングプレノート』							
	6月	Lesson 6 Education 身近な事柄について書かれたエッセイ(1000語程度)を読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理することができるようになることを目指す。	<英会話> 英語で防災に関するプレゼンテーションを行う。							
	7月	【第一回定期試験】								
夏休み	8月	<夏休みの課題>								
前期	9月	Lesson 7 Miracles of Nature 科学的な事柄について書かれた説明文(700語程度)を読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、書き手の主張や目的を判断することができるようになることを目指す。								
後期	10月	Lesson 8 Sustainable Development 科学的な事柄について書かれた説明文(1000語程度)を読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、書き手の主張や目的を判断することができるようになることを目指す。								
	11月	Lesson 10 Human Relationships 身近な事柄について書かれた物語文(1000語程度)を読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、行間を読む事ができるようになることを目指す。								
	12月	【第二回定期試験】								
冬休み	1月									
後期	1月									
	2月									

教科	英語	科目	英語コミュニケーションⅢ	授業時数	週 4時間	教材	LANDMARK English Communication Ⅲ	種別	高校
学年組類型	高等学校3年5組～8組 (文Ⅱ)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	Lesson 1 Incredible Edible 実用英語技能検定対策			◆必要な語彙力を十分に身に付ける。 ◆意味をかたまりで捉え、英文を読む力を高める。				
	5月	Lesson 2 Blood Is Blood 実用英語技能検定対策			◆長文読解を通して、さまざまな知識や情報を得て、それについて自分の考えを深める。 ◆英文を声に出して読み、音読およびリスニングの力をつける。				
	6月	Lesson 3 Saving Our Treasures from the Sea			◆長文に関する問題を解き、課題解決能力を身に付ける。				
	7月	◎防災に関する授業			◆単元ごとに小テストを行い、学習到達度を確認し、既習事項の復習を習慣づける。				
		第1回定期試験			◆実用英語技能検定の過去問題を演習する。				
					◆総合的な探究の時間で取り扱った問題を解説する。				
		試験範囲 L.1,L.2,L.3							
	8月								
	9月	Lesson 4 Men's Brains vs. Women's Brains			◆意味をかたまりで捉え、英文を読む力を高める。 ◆長文読解を通して、さまざまな知識や情報を得て、それについて自分の考えを深める。 ◆複数人で問題に取り組み、話し合いや協力することにより、問題解決力を育てる。				
後期	10月	Lesson 5 Political Correctness			◆長文に関する問題を解き、課題解決能力を身に付ける。				
	11月	Lesson 6 José Mujica: The World's Poorest President			◆単元ごとに小テストを行い、学習到達度を確認し、既習事項の復習を習慣づける。				
	12月	第2回定期試験			◆英文を声に出して読み、音読およびリスニングの力をつける。				
	試験範囲 L.4,L.5,L.6								
冬休み	12月								
	1月								
後期	1月								
	2月								
	3月								
春休み	3月								
備考	副教材として次のものを使用する。			LANDMARK E.C.Ⅲサブノート LANDMARK E.C.ⅢWORKBOOK スタディサプリENGLISH 中高生英会話コース					

教科	英語	科目	論理表現Ⅲ	授業 時数	週 2 時間	教材	MY WAY Logic & Expression Ⅲ 英語構文ノート90	種別	高校					
学年 組 類型	高等学校3年1組(文Ⅲ)													
時期		項目			到達目標									
前期	4月	Lesson 1 Survey Results			◆英語構文を理解し、問題に取り組むことができる。									
	5月	英語構文90 Itを含む構文(p.2~5)			◆4技能の均衡を図りながら、CDの音声を十分に聞き、正しい発音を発声することができる。									
	6月	Lesson 2 Writing an Email			◆内部推薦試験対策として、単元に対応した様々な問題に取り組むことができる。									
	7月	第一回定期試験			◆実用英語技能検定一次試験に合わせて、筆記試験やリスニング問題演習を行い、合格を目指す。									
夏休み	7月	夏休みの課題			◆単元別に小テストを行い、知識を定着させる。									
	8月									◆試験範囲:L.1~2 英語構文90 p.2~5				
前期	7月	夏休みの課題			◆内部推薦試験対策として、問題集を選定し、実力を養う。									
	8月													
前期	9月	Lesson 3 Writing a Blog			◆英語構文を理解し、表現することができる。									
	9月	Lesson 3 Writing a Blog			◆4月から7月まで学習したことも活用することで応用力を身につける。									
後期	10月	英語構文90 不定詞を含む構文(p.6~8)			◆4技能の均衡を図りながら、CDの音声を十分に聞き、正しい発音を発声することができる。									
	11月	Lesson 4 Describing Activities			◆高校卒業後、英語能力検定の取得やTOEICの点数を獲得するため、高校履修範囲の文法事項を理解し、使うことができる。									
	12月	第二回定期試験			◆単元別に小テストを行い、知識を定着させる。									
冬休み	12月				◆防災学習として避難時の英語表現を学ぶ									
	1月									◆試験範囲:L.3~4 英語構文90 p.6~8				
後期	1月													
	2月													
	3月													
春休み	3月													
	3月													

教科	英語	科目	論理・表現Ⅲ	授業 時数		週3時間		教材	Crown Logic and Expression III	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年2～4組										
時期		項目				到達目標					
前期	4月	Lesson 1 Global Language				【年間到達目標】 1) 正確な英文法を習得し、自らを表現する。 2) 英語の特徴を理解し、日本語にとらわれず英作文に取り組むことができる。 3) 夏休み前までに基礎固めを完了する。 4) 入試問題に対応できる実践力をつける。 『Vintage』 第17章、第18章、第19章、第20章、第21章 『リードA』 19特別な表現 13接続詞 21代名詞 『英語構文ノート90』 第1章 ～ 第6章					
	5月	Lesson 2 Millennials' Consumption Trends									
	6月	Lesson 3 Space Odyssey									
	7月	Lesson 4 Art or Graffiti?									
			【第一回定期試験】								
夏休み	8月	＜夏休みの課題＞									
前期	9月	Lesson 5 Media and Information Literacy									
後期	10月	Lesson 6 Are you a Great Creative Thinker?				『Vintage』 第22章、第23章、第24章、第25章、第26章 『リードA』 22形容詞・副詞 20名詞 23前置詞 『英語構文ノート90』 第7章 ～ 第12章					
	11月	Lesson 7 Green Wisdom									
	12月	【第二回定期試験】									
冬休み	1月										
後期	1月					追記 Lessonの内容に合わせ、防災の内容を扱う。					
	2月										
	3月										

教科	英語	科目	論理表現Ⅲ	授業 時数	週2時間	教材	Vision Quest English Expression II Hope CROWN	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年5組～8組 (文Ⅱ)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	【Vision Quest English Expression II Hope】 Lesson 1 What is your future goal?			【前期目標】 ・文の種類を理解し、活用することができる ・適切な動詞を用いて、文を表現することができる ・否定表現を理解し、活用することができる				
	5月	Lesson 2 What school events do you have?							
	6月	Lesson 12 What is important when we sell chocolate?							
	7月	【第一回定期試験】							
夏 休 み	8月								
前期	9月	Lesson 3 Who is the best athlete?			【後期目標】 ・時制を理解し、使い分けすることができる				
後期	10月	Lesson 4 Is social media safe?			・助動詞表現を知り、さまざまな方法で説明できるようになる ・不定詞や分詞・接続詞を用いて、時や理由・譲歩・ 条件・付帯状況などを表す英文を作ることができる ・接続詞を用いて、時や理由・譲歩・条件・ 付帯状況などを表す英文を作ることができる ・防災に関わる単語を調べ、防災に関する英作文を作る				
	11月	Lesson 5 Which do you like better, cats or dogs? 【CROWN】							
	12月	・Space Travel ・Media Literacy 防災学習 【第二回定期試験】							
冬 休 み	12月 1月								
後期	1月				【副教材】 『Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK』				
	2月				『英語構文90』 『総合英語 Vision Quest』 『高校リード問題集A』				
	3月								